

アリセプト処方 of 注意事項

「禁忌」

次の薬剤で副作用が出た場合

- アセナリン、インプロメン、ケトテン、セレネース、ペルサンチン、メレリル、ミオナール、ルーカス、リスパダール（アセナリンがピペリジン誘導体のため、ピペリジン骨格有する薬剤の為）

「慎重投与」

アリセプトはコリン作動性作用により、以下の疾患の患者に対しては症状を誘発または増悪する可能性があるため

- 洞不全症候群、心房内及び房室接合部伝導障害等の心疾患のある患者（迷走神経刺激作用により徐脈あるいは不整脈を起こす可能性があるため）
- 消化性潰瘍の既往歴のある患者、非ステロイド性消炎鎮痛薬投与中の患者（胃酸分泌の促進および消化管運動の促進により消化性潰瘍を悪化させる可能性がある）
- 気管支喘息または閉塞性肺疾患の既往歴のある患者（気管支平滑筋の収縮および気管支粘液分泌の亢進により症状が悪化する可能性がある）
- 錐体外路障害（パーキンソン病、パーキンソン症候群等）のある患者（線条体のコリン系神経を亢進することにより、症状を誘発または増悪する可能性がある）

2006.10 ふたわ診療所グループ精神科チーム作成